

建設プロセスの変革を目指す野原グループ
建設 RX コンソーシアム エキシビジョン2024に出展 (11/27~11/28)
~BuildApp のサービス群から、内装・建具工事向けサービスを紹介~

【会員企業向け】建設 RX コンソーシアムExhibition2024



正会員・協力会員の枠を超えて、分科会・業種の枠を超えて、
「繋がって強くなる」

2024

11.27 水 13:00~17:00 — 11.28 木 10:00~17:00

BuildApp（ビルドアップ）で建設DXに取り組む野原グループ株式会社（所在：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、建設RXコンソーシアム（以下、RXコンソ）が2024年11月27日、28日に品川インターシティホールにて開催する「建設RXコンソーシアムエキシビジョン2024」に会員企業としてブース出展し、BIM設計-製造-施工支援プラットフォーム「BuildApp」の内装・建具工事向けサービスを紹介することをお知らせします。

野原グループの出展内容の見どころの一つは、BuildAppの内装工事向けサービス（BuildApp内装）の紹介です。「BuildApp内装」の開発を担うBuildApp事業統括本部 BuildAppサービス開発統括部（以下、認証組織）は、2024年8月に、ISO 19650-1及びISO 19650-2に基づく「設計と建設のためのBIM BSI Kitemark（カイトマーク）」の認証を取得しています¹。BIM BSI Kitemarkの認証は、BuildAppによる内装石膏ボードに関する作業工程を前提とする業務範囲において、認証組織が高レベルな情報マネジメントを実施し得ることを示しています。

「建設RXコンソーシアムエキシビジョン2024」は、会員企業間の連携強化と分科会活動の活性化を図ることを目的とした会員企業向けイベントです。ぜひ、弊社ブース内でBuildApp内装のサービス内容を多くの会員企業関係者にご覧いただき、共に施工プロセスの変革を加速していければと考えています。

■建設RXコンソーシアムエキシビジョン2024について

イベント名	建設RXコンソーシアムエキシビジョン2024
主催者	建設RXコンソーシアム
開催期間	2024年11月27日（水）～28日（木）
会場名	品川インターシティホール 〒108-0075 東京都港区港南2-15-4 品川インターシティホール棟

	https://sic-hall.com/access/
野原グループの出展内容	BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）から、BuildApp 内装、BuildApp 建具の各サービスを紹介
出展予定の会員企業	74 社 ※出展する分科会・企業のリストは こちら （建設 RX コンソーシアム WEB）
注意事項	<p>1. 「建設 RX コンソーシアム エキシビション 2024」は、会員企業向けイベントです。</p> <p>2. 報道機関関係者で見学や取材を希望される場合は、以下にご連絡をお願いします。</p> <p>【野原グループの出展内容のご取材】 野原グループ株式会社 マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：齋藤・萩谷） E-Mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp</p> <p>【「建設 RX コンソーシアム エキシビション 2024」に関するお問合せ先】 建設 RX コンソーシアム事務局 E-Mail：rxconso01@rxconso.com</p>
WEB	RX コンソ発表の公式パンフレットは こちら

建設 RX コンソーシアムとは

建設 RX コンソーシアム（以下、RX コンソ）は、建設業界が抱える就労人口の減少、生産性・安全性の向上などの諸課題の解決に向け、施工ロボットや IoT アプリ等の開発と利用に係るロボティクストランスフォーメーション（ロボット変革）を推進すべく設立した民間団体ですⁱⁱ。2024年10月末時点での会員企業数は263社（正会員29社、協力会員245社）で、12の分科会ⁱⁱⁱが活発な活動を展開しています。

野原グループは、2023年2月に RX コンソに入会しています^{iv}。

BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム「BuildApp」について ※登録商標取得済み



建設プロセスに、革新と未来を。

「BuildApp（ビルドアップ）」は、設計事務所やゼネコンが作成した BIM 設計データをより詳細なデータに置き換え、各建設工程に必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までを BIM でつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供します。そして、設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2削減に貢献します。

「BuildApp」は、建設サプライチェーンの抜本的な効率化と未来へ繋がる成長をサポートし、皆さまと一緒に建設業界をアップデートしていきます。



私たちが BuildApp で実現したいこと

- ・ BIM 起点のデータで建設関係者を繋いで連携を生む
- ・ 工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消する
- ・ DX^vによる生産性向上や廃材・CO2排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーン^{vi}を変革し、「建設 DX で、社会を変えていく」

<お問い合わせ先>

BuildApp WEB	https://build-app.jp/		
お問い合わせ先	フォーム入力	https://build-app.jp/contact/	電話 03-4535-1158

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。



建設DXで、社会を変えていく

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量や CO2の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社

マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：森田・齋藤・萩谷）

E-Mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱ 野原グループの BIM 関連部署による、ISO 19650-1及び ISO 19650-2に基づく「設計と建設のための BIM BSI Kitemark（カイトマーク）」の認証取得については、2024年10月2日付け発表資料をご覧ください。

<https://nohara-inc.co.jp/news/release/9681/>

ⁱⁱ 建設 RX コンソーシアムの詳細は、公式サイトをご覧ください。<https://rxconso-com.dw365-ssl.jp/index.html>

ⁱⁱⁱ 建設 RX コンソーシアムの分科会の詳細は、公式サイトをご覧ください。

<https://rxconso-com.dw365-ssl.jp/custom.html>

^{iv} 野原グループ株式会社の建設 RX コンソーシアムへの入会については、弊社発表資料をご覧ください。

<https://nohara-inc.co.jp/news/information/7223/>

^v DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省の定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。

^{vi} サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れのことをいいます。